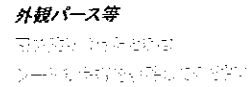


CASBEE® 新築 [簡易版]

評価結果

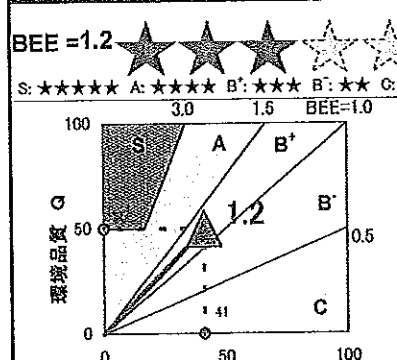
■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宇治市小倉町共同住宅新築	階数	地上6階
建設地	京都府宇治市小倉町西山5番の一	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準住居地域、準防	平均居住人員	157 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2012年6月25日
敷地面積	1,848 m ²	作成者	内海忠三
建築面積	786 m ²	確認日	2012年6月25日
延床面積	3,911 m ²	確認者	内海忠三

外観パース等


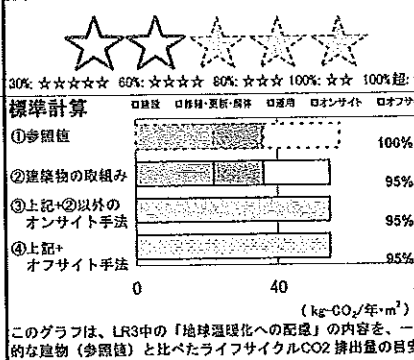
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2



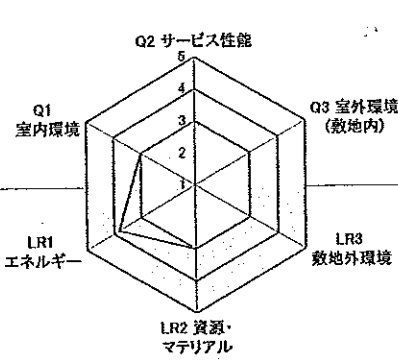
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)



標準計算
 ① 参照値 100%
 ② 建築物の取組み 95%
 ③ 上記②以外のオンサイト手法 95%
 ④ 上記+オフサイト手法 85%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

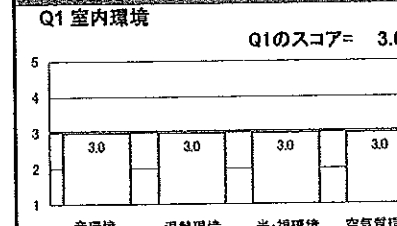


2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Qのスコア = 3.0

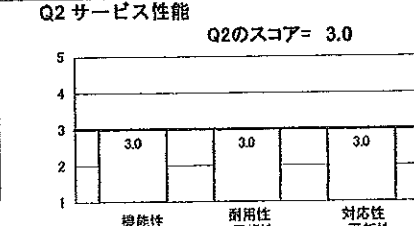
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0



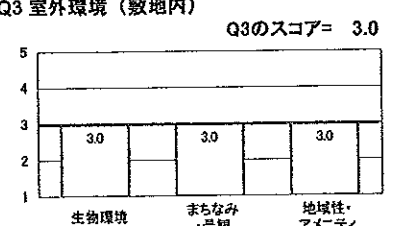
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0



Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

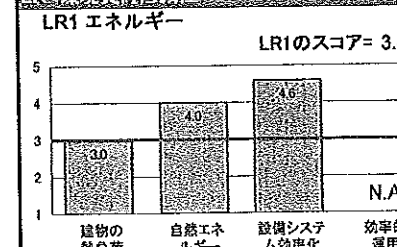


LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.8

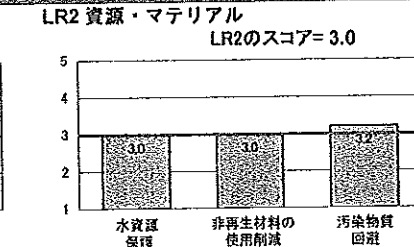
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8



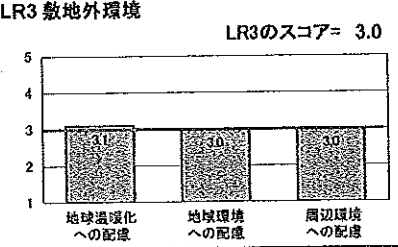
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0



3 設計上の配慮事項		
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい